

エコアクション21

環境経営レポート

令和6年度版



レポートの対象機関

令和5年12月26日～令和6年11月25日

発行日：令和6年11月29日

株式会社 山口

環境方針

当社の事業活動は一般土木工事及び産業廃棄物中間処理業が主体であり、これに伴う環境負荷の低減を行う。また環境関係法規の周知徹底を行うとともに法令・条例等の規則事項を遵守し、環境活動の継続的活動を行う。

循環型社会地域形成の一役を担い、地域環境保全に貢献する事を基本方針とする。

《環境活動方針》

- i. 事業活動において適用される環境法令等の遵守を行う。
- ii. 建設機械及び運搬車両使用燃料(軽油)の節約及び排気ガス抑制を行う。
- iii. 事務所内・土木工事現場・中間処理施設における電気の使用方法を見直し、省エネルギーへの取組を強化する。
- iv. 各工事現場における材料購入時はリサイクル認定品及び再生資材を優先的に購入(グリーン購入)する。
- v. 敷地内に降った雨水を利用し、上水道の使用低減を行う。
- vi. 定期的に社員教育を行い、環境方針の周知徹底を行うと共に環境に対する保全意識の向上を行う。
- vii. この環境方針は社員に対して書面配布すると共に、一般公開も行う。

令和2年11月11日 更新

石川県七尾市旭町い部32番地

株式会社 山 口

代表取締役 山 口 利 勝

事業概要

1. 事業者名	株式会社 山口
2. 代表者	代表取締役 山口 利勝
3. 所在地	
・ 本社	〒926-0833 石川県七尾市旭町い部32番1 TEL:0767-57-3663 FAX:0767-57-3622
・ 旭現場管理事務所 産業廃棄物 中間処理施設	〒926-0833 石川県七尾市旭町い部32番1 TEL:0767-57-3663 FAX:0767-57-3622 E-mail aoi-yama@hyper.ocn.ne.jp URL https://kabu-yamaguchi.net
4. 環境管理責任者	環境管理責任者 代表取締役 山口 翼 EA21事務局担当 総務部 石倉 志野 山口 杏奈
5. 事業内容	一般土木工事 及び 産業廃棄物中間処理・再生砕石製造販売
6. 事業規模	法人設立年月日 昭和 50年 12月 6日 資本金 1,000万円 売上高(完成工事高) 228百万円 従業員数 10人
7. 許可内容	● 建設業許可 石川県知事許可 (般-5) 第4186号 建設業の種類 土木工事業、とび・土木工事業 ● 産業廃棄物処分業許可 石川県知事許可 第01722081000号 許可年月日 令和3年10月22日 有効年月日 令和10年10月21日 事業区分 中間処理(破碎) 産業廃棄物の種類 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず (コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片、石破片に限る) がれき類(コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片、石破片に限る) これらのうち特別管理産業廃棄物であるもの及び石綿含有産業廃棄物であるものを除く以上2種類 設置年月日 平成14年10月7日 処理能力 330t/日(11時間) 許可の条件 無し 許可の更新又は変更状況 - 平成14年10月7日 新規 - 平成19年12月28日 更新 - 平成22年12月21日 変更[石破片の追加] - 平成24年3月7日 優良基準適合確認 - 平成25年5月15日 更新 - 令和3年10月7日 変更[ガラス、陶くずにCo,Asがら追加] - 令和3年10月22日 更新(優良認定) 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無 無

処理実績(令和6年度:自社決算期 R5.12～R6.11)

コンクリート破片	...	31,154.09 ↑
アスファルトコンクリート破片	...	7,016.67 ↑
石破片	...	2,154.23 ↑

●産業廃棄物収集運搬業許可

石川県知事許可 第01701081000号

許可年月日 平成31年3月29日

有効年月日 令和8年3月22日

事業範囲 積替え保管を除く。
廃プラスチック類 *

木くず

金属くず *

ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず *

がれき類

(*:自動車等破砕物であるものを除く。)

これらのうち特別管理産業廃棄物であるもの及び石綿含有産業廃棄物であるものを除く以上5種類

許可の条件 無し

許可の更新又は変更の状況	平成13年11月20日	新規
	平成18年11月20日	更新
	平成23年11月20日	更新
	平成24年3月23日	更新(優良認定)
	平成31年3月29日	更新(優良認定)
	令和2年6月11日	変更(代表書の変更)

積替え許可の有無 無し

規則第9条の2第5号の規定による許可証の提出の有無 無

収集運搬の実績(令和6年度:自社決算期 R5.12～R6.11)

がれき類	...	118.83 ↑
木くず	...	2.80 ↑
廃プラスチック	...	0.82 ↑

運搬車両の種類と台数

形状	寸法	自動車登録番号	積載量
ダンプ	長さ469cm、幅170cm 高さ200cm	石川46ぬ1911	2,000kg

8. 対象範囲

全組織及び全活動を対象とする。

株式会社山口 産業廃棄物中間処理施設一次破碎フローチャート



株式会社山口 産業廃棄物中間処理施設二次破碎フローチャート



①アスファルトRC-40
投入状況



②RC-13オーバー選別状
況



③RC-13オーバー破碎状
況



⑤アスファルト100%再生碎石
RC-13



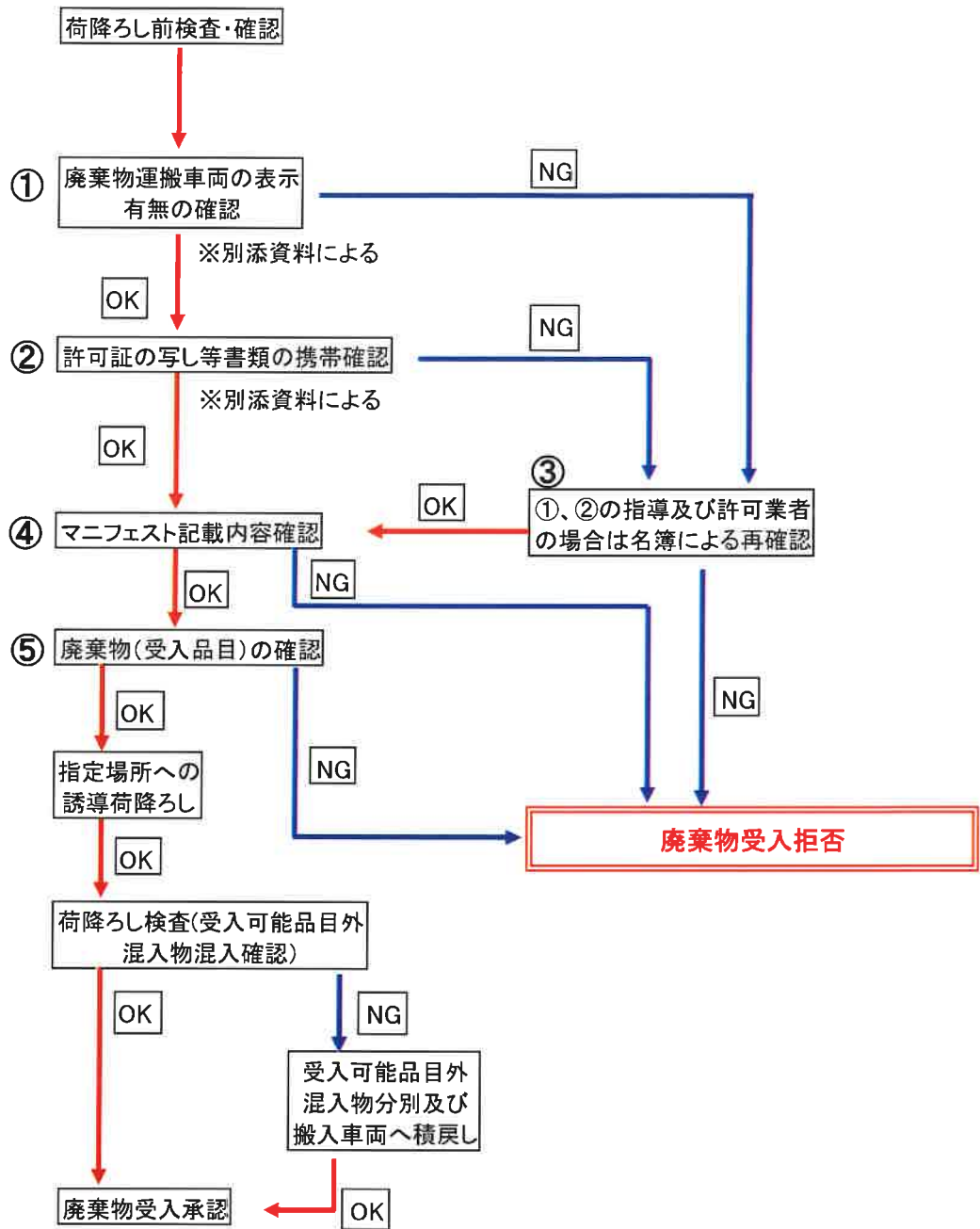
④RC-13製品落ち場

(場内ストックヤード)
仮置き

その他散水設備

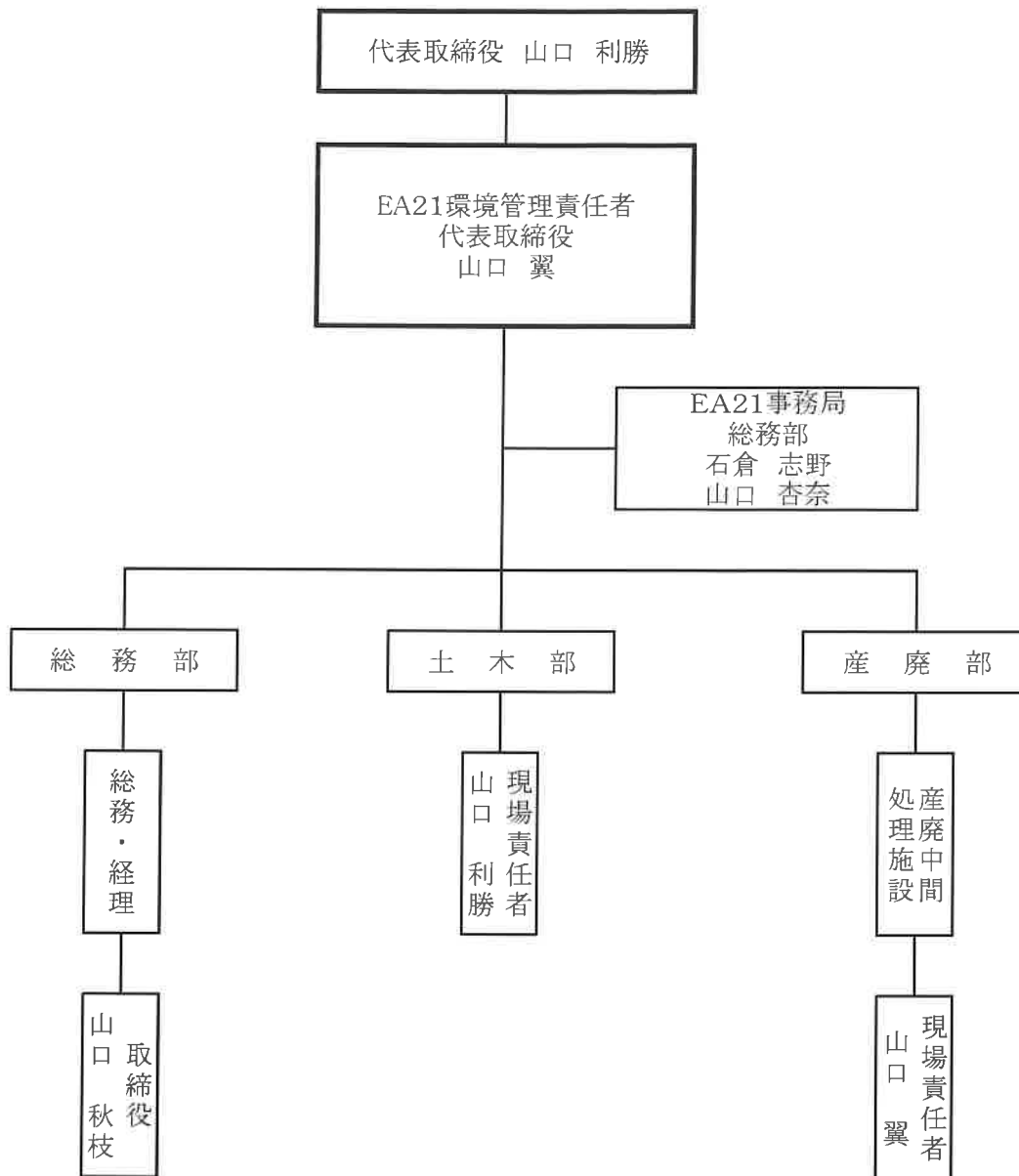


**旭産業廃棄物中間処理施設
廃棄物受入基準フローチャート**



注) 当日連続運搬の場合は収集運搬許可業者の是非に関して再確認を省略する。

エコアクション21 実施体制



責任者の役割

代表取締役 山口 利勝	環境方針を作成する。 環境管理責任者を任命する。 環境活動全体の評価と見直しを実施。 環境保全活動のために経営資源を投入する。 社内情報の外部公開可否決定
EA21環境管理責任者 代表取締役 山口 翼	EA21の改善活動を推進する。 環境目標の作成及び進捗管理し、代表者に報告する。 環境関連法律を遵守評価し、改善策を作成する。 必要な教育・訓練の計画及び実施。
EA21事務局 総務部 石倉 志野 山口 杏奈	文書・記録の集計、改廃、伝達の業務を推進する。 毎月の環境負荷データを整理し、従業員に発表できるように準備する。
各部門 担当責任者	環境活動実施記録を記録し、事務局へ適時提出する。

環境目標とその実績

I. 環境への負荷の状況 (R3～R6)

項 目	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総エネルギー投入量	電気	KWh	13,013	11,584	9,097
		MJ	127,918	113,870	89,424
	燃料	MJ	1,686,460	1,512,433	1,252,944
総物質投入量	資源	t	133	216	130
	循環資源	t	119	223	459
水資源投入量	上水	m ³	128	114	54
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂	121,332	109,534	89,802
受託した産業物の処理量	収集運搬	t	16	21	17
	中間処理	t	18,310	22,289	13,187
	うち再資源化量	t	18,310	22,220	13,120
廃棄物等排出量	再生利用	t	183	193	137
廃棄物最終処分量	最終処分量	t	0	8	1
総排水量	公共用水域	m ³	128	114	54
軽油使用量		L	41,249	36,912	29,710

(会社全体の売上高に対する負荷の状況)

売上高	千円	83,816	104,097	56,710	227,827
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /千円(売上高)	1.448	1.052	1.584	0.886
軽油	L/千円(売上高)	0.492	0.355	0.524	0.317

II. 令和6年度環境目標と実績

項 目	単 位	基準値 R2～R4 の平均値	令和6年			
			目標値	実績値	達成状況 (実績/目標)	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	115,071	112,770	201,771	1.789	×
	kg-CO ₂ /千円(売上高)	1.284	1.258	0.886	0.704	○
軽油使用量	L	38,905	38,127	72,209	1.894	×
	L/千円(売上高)	0.434	0.425	0.317	0.746	○
受託した産業廃棄物のリサイクル率	%	100	99	98	0.990	×
水使用量	m ³	145	142	138	0.972	○

環境活動での自己評価(是正処置及び予防措置)

二酸化炭素排出量・軽油使用量

目標値に対する達成状況はNG判定となりましたが、
双方ともに売上増加に伴う影響によるNG判定である為、特に問題視しないものとする。

廃棄物リサイクル率・水使用量

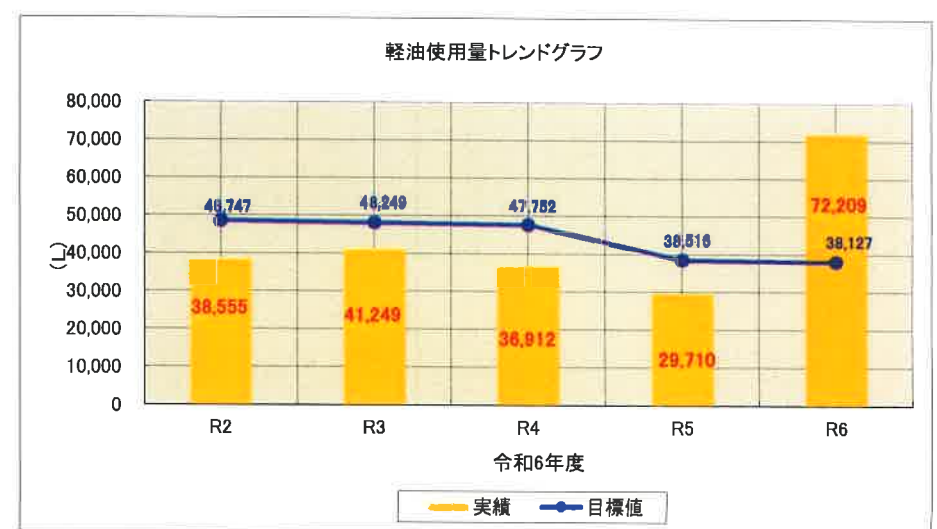
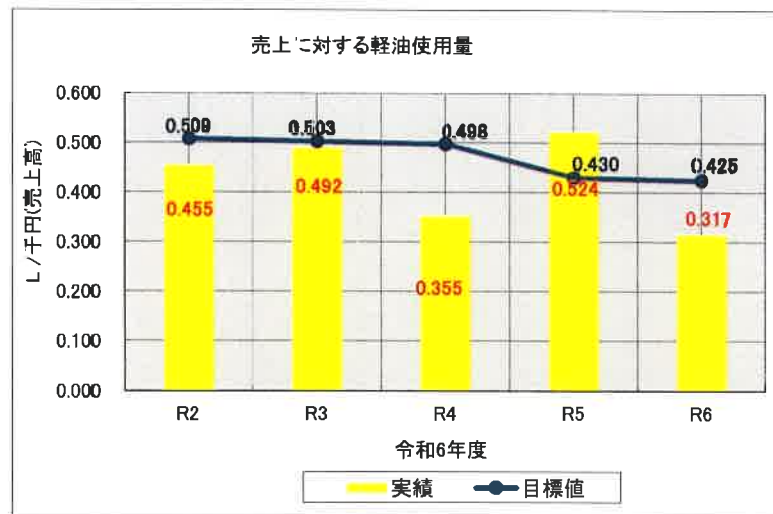
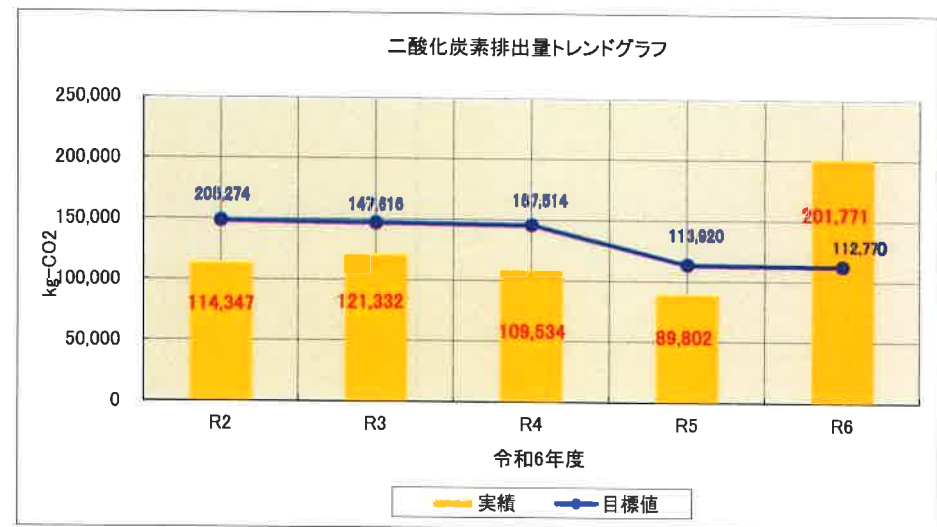
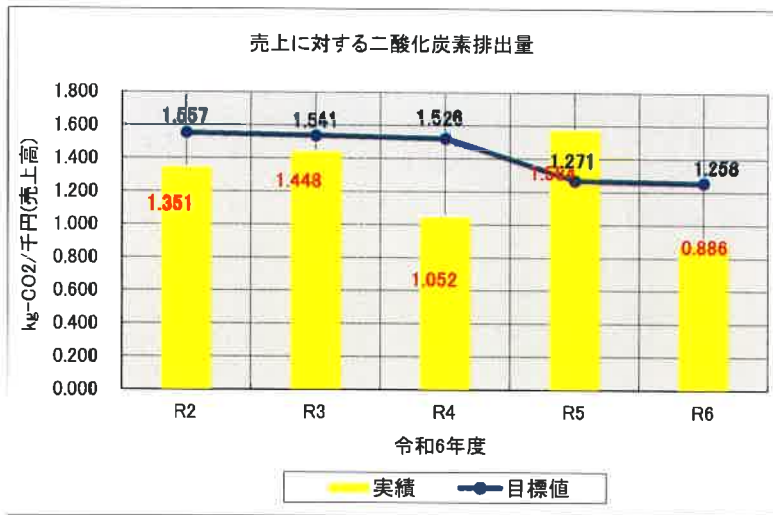
水使用量は達成状況に問題は無いため現状を維持し継続する。
廃棄物リサイクル率は受託した処理量が前年の3倍に増加しているが、
リサイクル率には特に問題は無いので現状維持のト、不純物(弊社でリサイクルできないもの)
の混入防止を排出事業者に伝え続ける。

Ⅲ. 令和7年度以降の目標値

(購入電力の二酸化炭素排出量は北陸電力2023年度公表値0.481 kg-Co2/kWhを使用。)

項 目		単 位	基準値 R2～R4 の平均値	令和7年 度	令和8年 度	令和9年 度	令和10年 度	令和11年 度
全 体	二酸化炭素排出量	kg-CO2	115,071	111,619	110,468	109,317	108,167	107,016
		kg-CO2/千円(売上高)	1.284	1.245	1.233	1.220	1.207	1.194
	軽油使用量	L	38,905	37,738	37,349	36,960	36,571	36,182
		L/千円(売上高)	0.434	0.421	0.417	0.412	0.408	0.404
受託した産業廃棄物のリサイクル率		%	100	99	99	99	99	99
水使用量		m ³	145	141	139	138	136	135

- ・ 建設廃棄物(主にコンクリート、アスファルト、金属、木くず)については全て再資源化しており、今後も従来通り維持する。
- ・ 車両の燃費管理は、月報で走行距離と給油量を記録することで把握しており、可能な範囲でデータを取り、車両に不具合が発生しているかどうかの状況把握に活用する。
- ・ 受託した産業廃棄物のリサイクル率の目標値100%を99%に見直す事とする。
- ※ (受入時には見つける事が難しく弊社では処分する事が出来ない廃棄物が混入している場合がある為)



環境活動計画とその実施状況

1 数値目標を達成するための取組

1) 二酸化炭素排出量の削減	評価	次年度の取組
a) 消費電力の削減		
事務所内の空調温度設定は、夏＝28℃・冬＝20℃を原則とする。	△	継続
空調設備等の買い替え時は省エネタイプの機器を導入する。	○	継続
勤務・休憩時間を問わず、不必要な箇所の照明の消灯及び事務機器の主電源OFFを行なう。	○	継続
自作の節電ポスターを作製・掲示し、社員に対する節電意識の向上を促がす。	○	継続

b) 灯油の削減		
事務所内の室内温度設定の調整に伴い、暖房器具のON/OFF調整を行なうとともに灯油使用量の削減に努める。	○	継続
冬季における現場休憩所での暖房器具使用時間を11:30～13:00までと限定し、無駄な暖気を行わずに灯油使用量を削減する。	○	継続

c) ガソリンの削減		
社用車の省エネ運転の推進：業務により自動車での移動を行なう際に、同一方向に対して何度も往復走行する事を避け、移動回数を減らすとともに適切な走行ルートを計画的に走行することにより、ガソリン使用量の削減を行なう。	○	継続
社用車の定期的整備の実施。燃料効率の悪化防止に努め、燃料効率の向上を図る。	○	継続

d) 軽油の削減（最重点項目）		
ディーゼルエンジン車(工事用車両)のエコドライブの徹底。	○	継続
建設工事及び産業中間処理施設用建設機械の無駄なアイドリングの削減。	○	継続
重機等運転技術向上に伴う使用量削減の為の社内研修実施。	○	継続
工事現場(特に河川工事)における水替え時間の調節による削減。終日排水を可能な限り作業時排水にて水替えを行う。	○	継続
購入機械及びリース機械の選定時に、消費燃料の少ない機械を選定する。	○	継続

2) 廃棄物排出量の削減

- 1.Reduce(リデュース：ごみの発生抑制)、2.Reuse(リユース：再使用)、3.Recycle(リサイクル：ごみの再生利用)の優先順位で廃棄物の削減に努める。

個人的なゴミの発生抑制として、昼食の弁当ガラ等の個人的なゴミは自宅へ持ち帰り、自分で処分する事を社内方針として定め、弁当箱の持ち運びによるゴミの発生抑制を行なう。	○	継続
社内に設置するゴミ箱を各部屋に1個の設置と限定し、ゴミが捨てにくい環境作りを行なう。ゴミが捨てにくい環境になれば、各々がゴミの発生抑制に対する意識を持ち、ゴミを生まない・作らない意識を向上させ、発生抑制へと促す事を目的として行なう。	○	継続
コピー用紙(片面使用済み)の裏紙利用による再利用を行なう。	○	継続
現場で使用する軍手を毎日回収し、使用可能限界時まで洗濯して再利用する。	○	継続
産業廃棄物(木くず・金属くず・廃プラスチック等)の分別を行い、再生利用・再資源化を推進する。	○	継続

3) 水使用量の削減(節水)	評価	次年度の取組
便器の水量調節を行い、トイレ排水量の削減を行なう。	○	継続
台所の蛇口に節水アイテムを備えて、排水量の削減を行なう。	○	継続
産廃中間処理施設の散水施設(貯水タンク)への貯水は雨水を利用する。	○	継続
工事車両の洗浄時は中間処理施設の散水施設を利用する。	△	継続
タイヤ洗いの貯水は雨水を利用する。	○	継続

4) 重機・工事車両リサイクル部品使用の推進

産廃中間処理施設使用機械及び建設機械・工事車両の部品交換時はメーカー・修理工場等と協議を密にして、リサイクル部品の利用を推進する。	○	継続
---	---	----

5) 整理・整頓・清掃・清潔(4S)の推進

まず整理(1S)、「普段必要としない物の置場整理を行い、再利用・再使用が不可能と思われる物を捨てる事」から始め、資材置き場等のスペースを確保する。それに伴い発生する廃棄物は、適時適正処理を行う。	○	継続
---	---	----

6) グリーン購入の推進

事務用品、事務用機器について環境配慮型商品の使用を推進する。	○	継続
工事に使用する製品は、リサイクル認定製品を優先的に購入・使用する。	○	継続

7) その他

その他、環境に関する情報の収集。	△	継続
------------------	---	----

2 その他の取組事項：(山口利勝)

社員の環境への意識高揚のために定期的な研修会や会議を行う。	△	継続
-------------------------------	---	----

取り組み結果の評価

中間処理施設及び工事現場においては例年通りの取り組みであり、今後も取り組みを継続する。
古い書類の整理等を行い、裏紙として使える用紙とに分別し、事務所内でのコピーの際には裏紙の利用を今後も継続する。

是正及び予防措置

現状を考慮しても、無理・無駄を避ける活動を実施しているので、現状維持に努める。

環境関連法規の遵守評価状況

法 規 名	遵 守 内 容	遵 守 ポ イ ン ト	確 認 日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	(排出)	委託基準に従い、業者選定	都度
	産業廃棄物の減量及び適正処理	委託契約・マニフェストの交付状況	都度
		廃棄物の発生から最終処分終了まで一連の行程確認	都度
	自ら保管・運搬・処分を行う場合	産業廃棄物保管基準・処理基準の確認	都度
	保管場所の届出	保管場所の面積は200㎡未満＝届出不要	都度
		保管場所の面積が200㎡以上＝14日以内に県知事に届出	都度
	廃棄物管理票の受渡・回付・保存・報告	廃棄物の引渡しと同時に管理票の受渡	都度
		管理票の交付から90日以内に運搬及び処分終了の送付(報告)	都度
		管理票の交付から180日以内に最終処分終了の送付(報告)	都度
		県知事への交付状況の報告(毎年6月30日まで)	R4.6
	(収集運搬) 運搬方法	車両表示・書面携帯・廃棄物の飛散流出防止	都度
		悪臭・騒音・振動の発生防止	都度
	(処分) 産業廃棄物保管基準	周囲の囲いの設置状況	R6.6
		掲示板の設置状況	R6.6
	処分又は再生の基準	廃棄物の積上げ高さ及び勾配	R6.6
		騒音・振動の発生状況	R6.6
		粉塵発生防止散水状況	R6.6
		廃棄物の積上げ高さ及び勾配	R6.6
	帳簿の備付	記入及び保管状況(1年閉鎖：5年保存)	R6.5
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	一般粉塵発生施設		
	コークス炉	原料処理能力50t/日以上	R6.8
	鉍物又は土石の堆積場	面積が1,000㎡以上	R6.8
	ベルトコンベア及びバケットコンベア	ベルト幅75cm以上、バケット容積0.03m³以上	R6.8
	破砕機及び摩砕機	原動機定格出力75kW以上	R6.8
	ふるい	原動機定格出力15kW以上	R6.8
	一般粉塵発生施設設置(使用・変更)届け	県知事への提出	R6.8
	公害防止管理者及びその代理者の選任	有資格者の選任・配置	R6.8
建設リサイクル法	一定規模以上の対象工事	着工の7日前までに事前届出提出	都度
	その他(土木工作物等)：500万円以上	特定建設資材の分別(解体)・再資源化	都度

法規名	遵守内容	遵守ポイント	確認日
振動規制法	特定施設を設置する工場又は事業場	特定施設の種類、規模能力の確認	R6.8
	土石用又は鉱物用の破碎機、摩碎機、ふるい及び分級機	原動機の定格出力7.5kW以上	R6.8
	敷地境界線での規制基準	8:00~19:00の時間帯で65dB以下	R6.8
	特定建設作業	該当作業・指定地域・届出有無確認	R6.8
騒音規制法	特定施設を設置する工場又は事業場	特定施設の種類、規模能力の確認	R6.8
	土石用又は鉱物用の破碎機、摩碎機、ふるい及び分級機	原動機の定格出力7.5kW以上	R6.8
	敷地境界線での規制基準	8:00~19:00の時間帯で70dB以下	R6.8
	特定建設作業	該当作業・指定地域・届出有無確認	R6.8

環境関連法規への違反、起訴等の有無

過去3年間、環境関連法規の違反はなく、起訴等についてもありませんでした。
また、過去3年間行政からの指導、近隣からの苦情等ありませんでした。
随時見直しを行い、法規等の厳守に努めます。

教育訓練及び地域とのコミュニケーション実施状況

EA21教育・安全訓練会議実施状況



清掃活動



SDGsへの取組



資表1 バリューチェーンにおける持続可能な調達に係る取り組みに対するSDGsのゴールの該当数(全40項)

SDGsの ゴール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
該当数	—	—	3	—	—	8	14	5	—	2	4	8	5	—	1	—	—



ゴール3:あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

分類	既存の制度・枠組での取組等	その他の 関連ゴール	項数	取り組み状況
騒音・振動・悪臭	騒音・振動・悪臭の防止(建築物の環境負荷低減性一敷地外環境)に取り組んでいる		1	産:破砕機周辺に遮音壁設置。各種重機類定期点検整備継続。 土:各種重機類定期点検整備継続。重機走行速度低速。
従業員の健康	従業員の1週間当たりの労働時間が法定労働時間の範囲内である又は適法な手続きによって法定労働時間の上限を延長している		2	8時間/日の40時間/週に調整中
	法令で対象とされる全ての従業員に対し、法定健康診断を受診させている		3	円山病院にて健康診断実施



ゴール6:全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

分類	既存の制度・枠組での取組等	その他の 関連ゴール	項数	取り組み状況
水使用量	水使用量(上水、工業用水、地下水)を把握し、削減に取り組んでいる		4	取り組み中
	バルブの調整により水量及び水圧の調節を図っている		5	取り組み中
	手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行している		6	取り組み中
	社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行している		7	取り組み中
	蛇口に節水こま(適量の水を流す機能を持つこま)を設置している		8	取り組み中
排水	総排水量(公共用水域、下水道)を把握し、削減に取り組んでいる		9	取り組み中
	節水型の家電製品、水洗トイレ等を積極的に購入している		10	取り組み中
雨水利用	雨水の貯留タンクや雨水利用施設の設置等により、雨水利用を行っている		11	取り組み中



ゴール7: 全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

分類	既存の制度・枠組での取組等	その他の 関連ゴール	項数	取り組み状況
使用量	エネルギー使用量(購入電力(新エネルギーを除く)、化石燃料)を把握・報告し、削減に取り組む		12	取り組み中
	経済活動量あたりのエネルギー使用量の減少によりCO2の排出量を削減する		13	取り組み中
節電	事務室、工場等の照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯している		14	取り組み中
	パソコン、コピー機等のOA 機器は、省電力設定にしている		15	取り組み中
	空調の適温化(冷房28 度程度、暖房20 度程度)を徹底している		16	取り組み中
節電	夏季における軽装(クールビズ)、冬季における重ね着等服装の工夫(ウォームビズ)をして、冷暖房の使用を抑えている		17	取り組み中
適正管理	共用のコンピューター等の電源については、管理担当者や使用上のルールを決める等、適正に管理している		18	取り組み中
	空調機については、フィルターの定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している		19	取り組み中
分類	既存の制度・枠組での取組等	その他の 関連ゴール	項数	取り組み状況
省エネ	高効率蛍光灯等の省エネルギー型照明器具に切り替えるようにしている		20	取り組み中
	省エネルギー基準適合製品を購入している	ゴール12	21	取り組み中
	社用車について、ハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車、電気自動車、天然ガス自動車等の低公害車への切り換えに取り組んでいる	ゴール13	22	ダンプトラック以外は取り組み中
環境負荷	都市ガス、灯油等の環境負荷の少ない燃料を優先的に購入、使用している		23	取り組み中
再生可能エネルギー	太陽光発電設備を導入し、太陽エネルギーを電気として利用している		24	土: 現場仮設電力確保のため太陽光発電機を活用
緑化	敷地内、壁面、屋上等の緑化を行っている(大気浄化、都市気象の緩和にも資する)	ゴール11 ゴール13	25	取り組み中



ゴール8: 包括的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい(ディーセントワーク)を促進する

分類	既存の制度・枠組での取組等	その他の 関連ゴール	項数	取り組み状況
雇用条件	雇用形態に関わらず、全ての従業員と労働条件を明示した労働契約を書面で交わしている又は労働条件通知書を交付している	ゴール10	26	取り組み中
	就業規則などの行動規範を定め、従業員が常に参照可能な状態にしている		27	取り組み中
	対象となる全ての従業員について労働保険および社会保険に加入している		28	取り組み中
高齢者・ 障害者雇 用	障害者の勤務に適した労働環境を整備し障害者を雇用している	ゴール10	29	取り組み中
	定年を設けない又は65歳以上の従業員の就労が可能な状態にある		30	取り組み中



ゴール10: 各国内及び各国間の不平等を是正する

分類	既存の制度・枠組での取組等	その他の 関連ゴール	項数	取り組み状況
雇用	雇用形態に関わらず、全ての従業員と労働条件を明示した労働契約を書面で交わしている又は労働条件通知書を交付している	ゴール8	26	取り組み中
	障害者の勤務に適した労働環境を整備し障害者を雇用している	ゴール8	29	取り組み中



ゴール11: 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を再現する

分類	既存の制度・枠組での取組等	その他の 関連ゴール	項数	取り組み状況
廃棄物の削減	廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量を把握し、削減に取り組む	ゴール12	31	取り組み中
廃棄物の 適正処理	廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行っている	ゴール12	32	取り組み中
	事業における廃棄物の処理を適法に行っている	ゴール12	33	取り組み中
緑化	敷地内、壁面、屋上等の緑化を行っている(大気浄化、都市気象の緩和にも資する)	ゴール7 ゴール13	25	取り組み中



ゴール12:持続可能な生産消費形態を確保する

分類	既存の制度・枠組での取組等	その他の 関連ゴール	項数	取り組み状況
廃棄物の削減	廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量を把握し、削減に取り組む	ゴール11	31	取り組み中
廃棄物の適正処理	廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行っている	ゴール11	32	取り組み中
	事業における廃棄物の処理を適法に行っている	ゴール11	33	取り組み中
	打合せや会議の資料等については、ホワイトボードやプロジェクターの利用により、ペーパーレス化に取り組んでいる		34	取り組み中
省資源	使用済み用紙、ポスター、カレンダー等の裏紙が活用できる紙は可能な限り利用するよう工夫している		35	取り組み中
	コピー機は、枚数や拡大・縮小の誤り等のミスコピーを防止するため、使用前に設定を確認するとともに、次に使用する人に配慮し、使用後は必ず設定をリセットしている		36	取り組み中
グリーン購入	省エネルギー基準適合製品を購入している	ゴール7	21	取り組み中
製品・サービス	再生資源を使用した商品、再生可能な商品、繰り返し使える商品、省エネ・省資源型の商品、容器包装を簡素化した商品、環境ラベル認定等製品等を重点的に販売している		37	取り組み中(RC-40及びRC-13)



ゴール13:気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

分類	既存の制度・枠組での取組等	その他の 関連ゴール	項数	取り組み状況
温室効果ガス	温室効果ガス排出量(二酸化炭素排出量等)を把握し、環境負荷の削減に取り組んでいる。		38	取り組み中
排気ガス	社用車について、ハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車、電気自動車、天然ガス自動車等の低公害車への切り換えに取り組んでいる	ゴール7	22	ダンブトラック以外は取り組み中
	排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車輛整備を行っている		23	取り組み中
温暖化対策	敷地内、壁面、屋上等の緑化を行っている(大気浄化、都市気象の緩和にも資する)	ゴール7 ゴール11	25	取り組み中
	もったいない運動(地球温暖化対策等)に取り組む		39	取り組み中



ゴール15:陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化・回復及び生物多様性の損失を阻止する

分類	既存の制度・枠組での取組等	その他の 関連ゴール	項数	取り組み状況
資源利用	間伐材、未利用資源等を利用した製品を積極的に購入、使用している		40	取り組み中

本業にまつわる環境目標

I. 土木工事を通じて環境保全の取り組みを支援する

年度毎の売上金額に対する軽油使用量の低減が実施できた場合に、前年度比削減率に対してエコ賞与を現場従事者に支給する。
但し、低減できなかった場合はエコ賞与の支給は無しとする。
※土場区工事・中間処理施設双方を総合した実数を対象とする。

H26年度～R元年度の実績		平成31 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
軽油使用量	L	57,637	38,555	41,249	36,912	29,710	72,209
売上高	千円	136,685	84,645	83,816	104,097	56,710	227,827
売上に対する使用量	L/千円	0.422	0.455	0.492	0.355	0.524	0.317
前年度比削減率	%	-19.96	8.02	8.05	-27.95	47.75	-39.50

(計算例)

令和5年度に対して令和6年度は前年度比-39.50%の削減を達成した。
実施率1%に対して1,000円の賞与を現場従事者に対し至急する為、
一人当たりのエコ賞与は

$$39.50\% \times 1,000 \text{円} = 39,500 \text{円} \quad \text{となった。}$$

II. 産業廃棄物中間処理施設を通じて環境保全の取り組みを支援する

1. 弊社中間処理施設を1年を通じて最も利用されているお客様上位3社に対し、1年間限定の処分委託引換権利を1位:10,000円、2位:8,000円、3位:5,000円分エコリサイクル景品として進呈する。
2. 弊社中間処理施設を1年を通じて利用されているお客様に対し、1年間限定の処分委託引換権利を3,000円分エコリサイクル景品として進呈する。
3. 弊社中間処理施設を一月を通じて最も利用されているお客様に対し、1年間限定の処分委託引換権利を1,000円分エコリサイクル景品として進呈する。
4. 弊社中間処理施設をご利用のお客様に対し、年度毎にエコポイントを進呈する。
年度集計金額1,000円に対し1ポイントを進呈する
※エコポイント:売上金額1,000円に対し1ポイント=1円の
1年間限定の処分委託料引換権利とする。
4. エコリサイクル景品は請求金額から自動的に値引きする事を基本とする。

代表者による全体評価と見直しの結果

令和6年度のEA21の取組結果としては、各エネルギーの使用量は大幅に上回るものの、売上高に対する二酸化炭素排出量と軽油使用量は下回る結果となった。

今年は地震の影響で受託した産業廃棄物の処理量も大幅に増えた結果、各エネルギーの使用増えたのは致し方ない部分ではあると感じていた。しかし、リサイクル率が下回った数値の結果を目の当たりにし、分別業務の荷降ろし検査時のチェックを見直すきっかけとなった。

荷降ろし検査の正確さや受入可能品目と受入可能品目外混入物の再確認を社員全員で共有し環境活動を継続していきたい。

令和6年11月26日
株式会社 山口
代表取締役 山口利勝

優良産廃処理業者認定

石川県知事から処分業許可において平成24年3月7日に優良基準適合確認を頂きました。又、収集運搬業許可において平成24年3月23日に優良認定を頂きました。

産業廃棄物処分業許可証

許可番号: 第137220第1400号

住所: 石川県能登町一里2番地
代表取締役: 山口 利勝

産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた者であることを証する。

石川県知事 署名 印

平成24年3月7日
平成24年3月23日

1. 事業の範囲
事業の区分: 中間処理・最終処分
最終処分物の種類: プラスチック、コンクリート、木材、陶磁器、ガラス、金属、繊維、石炭、土壌、がれき、その他。これらの中から石川県産業廃棄物処理センターに委託して処理するものを含む。

2. 事業の用に供するすべての施設

施設の種類	所在地	面積(㎡)	取得年月日	取得場所
1. 中間処理・最終処分施設	石川県能登町一里2番地	1,200	平成24年3月7日	石川県知事

3. 許可の条件
なし

4. 許可の更新又は変更の届出
平成24年10月22日 更新 平成24年11月28日 更新 平成24年12月21日 更新
平成24年3月7日 更新 平成24年3月23日 更新 平成24年3月23日 更新
平成24年3月23日 更新 平成24年3月23日 更新 平成24年3月23日 更新

5. 関係法令の4第2項の規定による許可証の提出の有無 有

産業廃棄物収集運搬業許可証

許可番号: 第137220第1400号

住所: 石川県能登町一里2番地
代表取締役: 山口 利勝

産業廃棄物の収集運搬に関する法律第14条第6項の許可を受けた者であることを証する。

石川県知事 署名 印

平成24年3月23日
平成24年3月23日

1. 事業の範囲
収集運搬物の種類: 産業廃棄物
収集運搬物の種類: プラスチック、コンクリート、木材、陶磁器、ガラス、金属、繊維、石炭、土壌、がれき、その他。これらの中から石川県産業廃棄物処理センターに委託して処理するものを含む。

2. 事業の用に供するすべての施設

施設の種類	所在地	面積(㎡)	取得年月日	取得場所
1. 収集運搬施設	石川県能登町一里2番地	1,200	平成24年3月23日	石川県知事

3. 許可の条件
なし

4. 許可の更新又は変更の届出
平成24年10月22日 更新 平成24年11月28日 更新 平成24年12月21日 更新
平成24年3月7日 更新 平成24年3月23日 更新 平成24年3月23日 更新
平成24年3月23日 更新 平成24年3月23日 更新 平成24年3月23日 更新

5. 関係法令の4第2項の規定による許可証の提出の有無 有

土木工事における環境活動事例（少人化ICT施工・管理の実施）

（測量関係）

- ・ 国土地理院 1級GNSS測量機(RWS)を利用したGNSS測量



- ・ 自動追尾型測量機械(光波)を使用したワンマン測量



- ・ 現場業務支援アプリ「FIELD-TERRACE」を活用



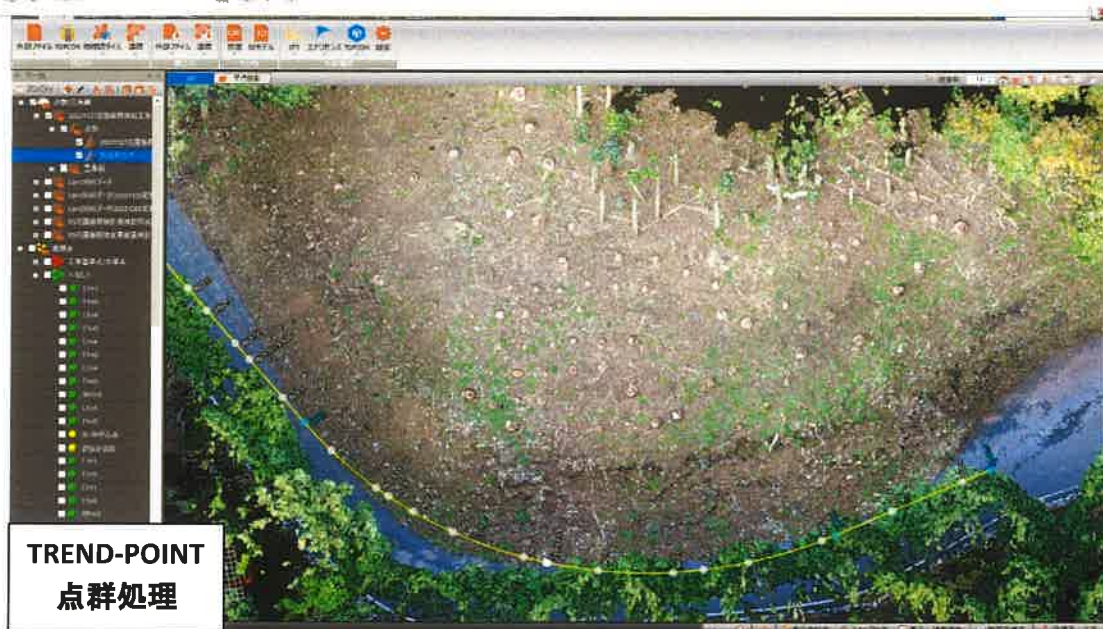
・無人航空機(ドローン)を活用した起工測量

無人航空機による空撮後、メタシェイプにより点群の生成を行い、3次元点群処理ソフト (TREND-POINT)への出力データを作成し、施工管理の工夫を実施

空撮状況



メタシェイプ
点群の生成

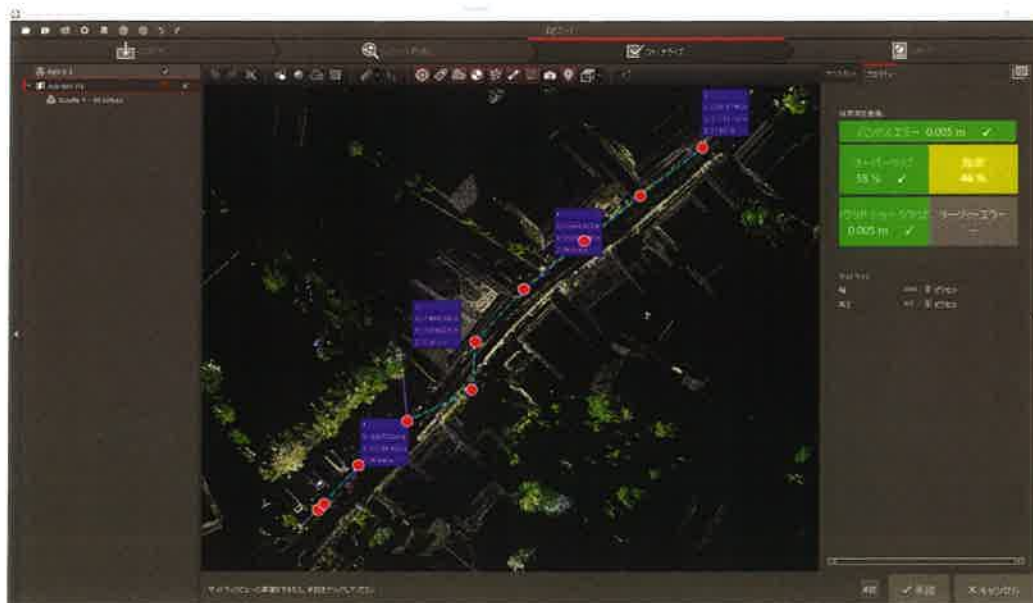


TREND-POINT
点群処理

・ RTC360(レーザー Scanner)の活用



Cyclone REGISTER 360 PLUS データ処理



TREND-POINT点群処理

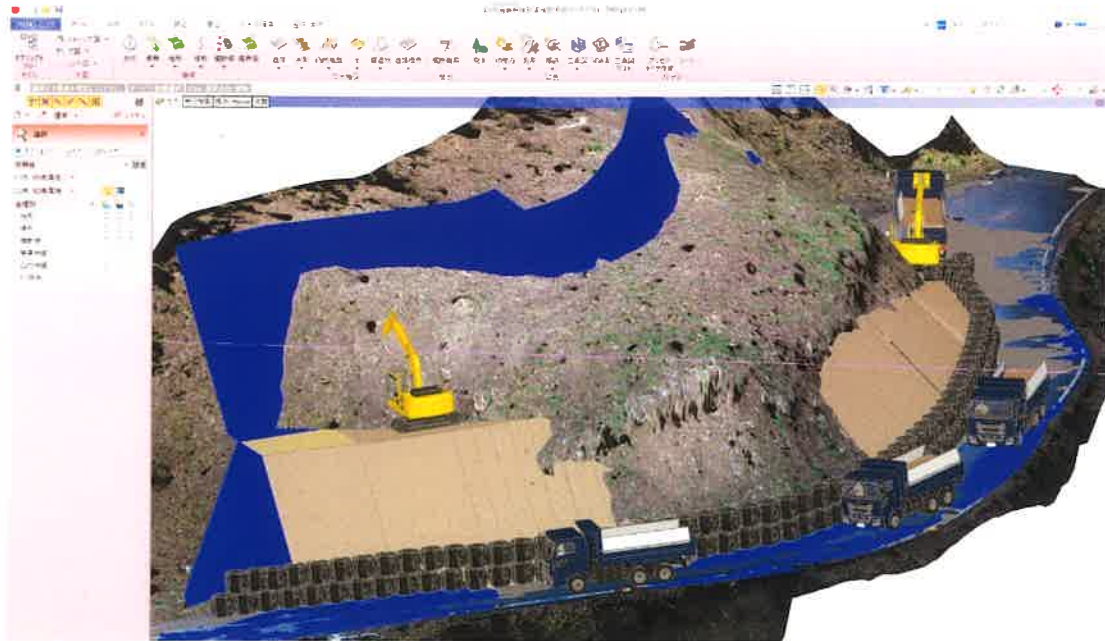


(施工管理関係)

- ・ 3次元モデルを利用したCIMコミュニケーションシステム 『TREND-CORE』

TREND-COREにて作成した3DモデルをTREND-POINTの点群データに合成し、完成形のシュミレーションを行い、現況と計画の相違の確認や仮設計画の検討、現場測量データの活用を行います

全体計画作成…大型車両及び冬季除雪車両の通行可否確認



仮設計画の検討及び協議資料作成に活用



当初設計



変更計画
車道幅員確保

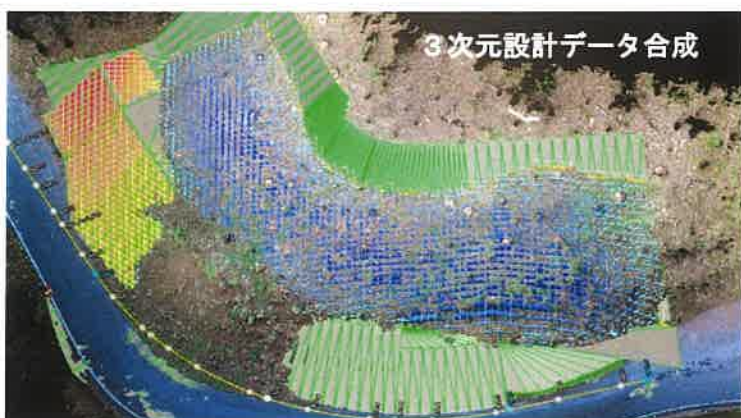
・ 3次元点群処理ソフト(TREND-POINT)を用いた施工土量計測システム

3次元点群処理ソフトを使用して土量計算を実施。TREND-CORE (3Dモデル等)とのデータ連携により施工管理に利活用。



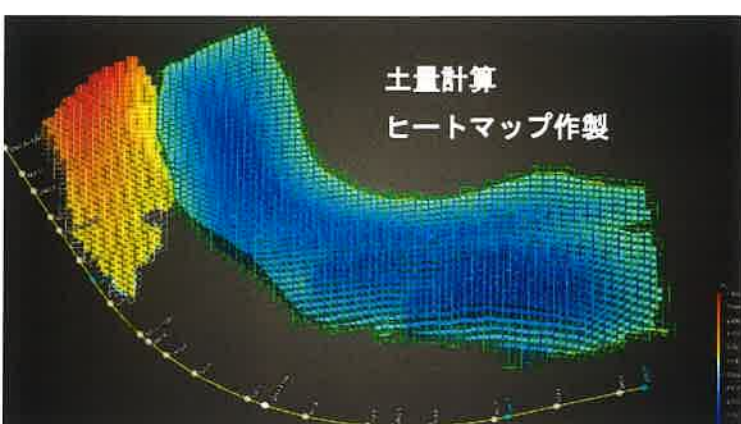
データ	メッシュ土量(車庫足場から上...
20231127花園緑野線起工測量	
R5花園緑野線変更数量検討用...	
盛土量	0.240 m ³
切土量	997.335 m ³ -997.095 m ³
詳細情報	
格子数	2,127
格子サイズ	0.50 m
格子面積	0.2500 m ²
総面積	508.8922 m ²
盛土面積	3.7592 m ²
切土面積	505.1330 m ²
最高標高	253.526 m
最低標高	243.446 m
最大標高差	0.052 m
最小標高差	-4.189 m
勾配	0.0000°

切土量



データ	メッシュ土量(No.3付近重機足...
20231127花園緑野線起工測量	
R5花園緑野線計画検討用3Dデ...	
盛土量	211.207 m ³
切土量	0.203 m ³ 211.004 m ³
詳細情報	
格子数	531
格子サイズ	0.50 m
格子面積	0.2500 m ²
総面積	123.9039 m ²
盛土面積	121.6646 m ²
切土面積	2.0512 m ²
最高標高	245.359 m
最低標高	237.097 m
最大標高差	4.530 m
最小標高差	-0.523 m
勾配	0.0000°

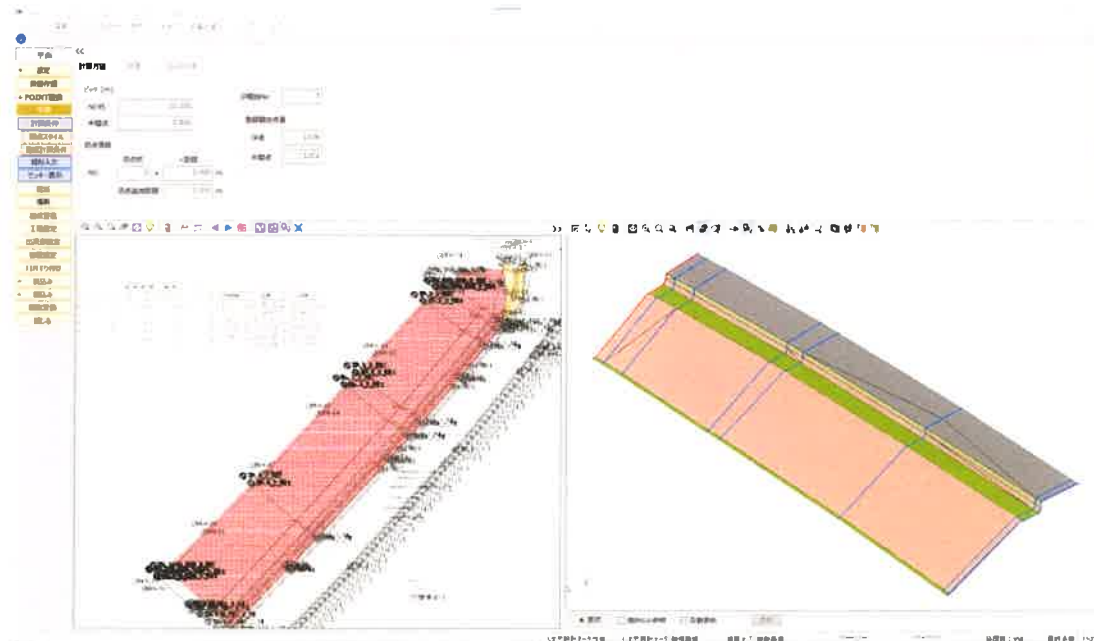
盛土量



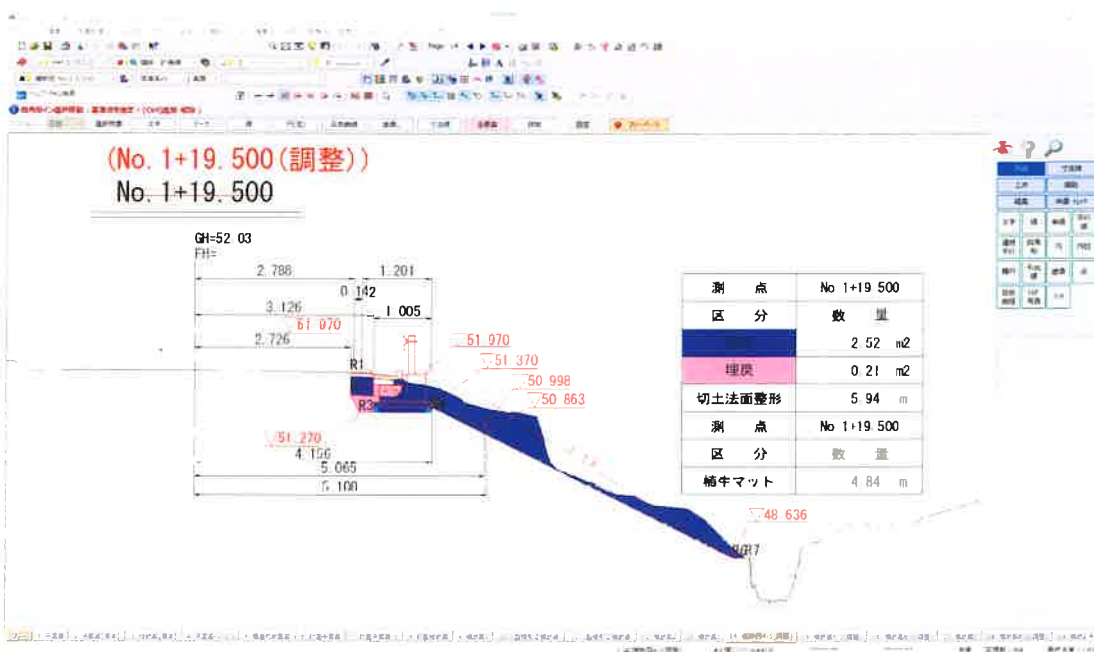
・3次元設計データ作成システム

EX-TREND武蔵（建設CAD）により3次元設計データを作成し、空撮測量及び面管理による出来形管理や現場測量に活用

3次元設計データ作成



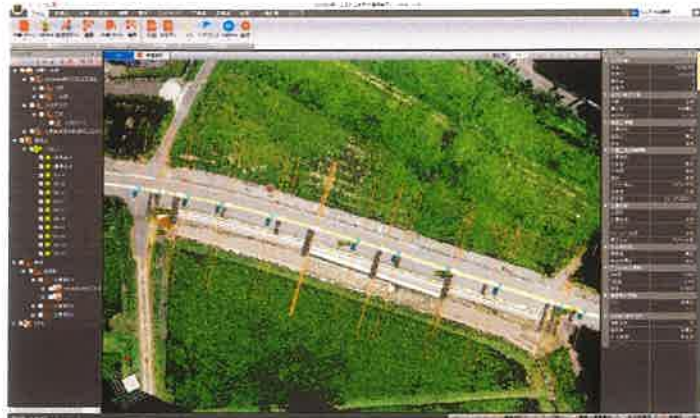
3D CAD 合成後横断面図作成



- ・ 3次元点群処理ソフト(TREND-POINT)を用いた施工土量計測システムの活用
3次元点群処理ソフトを使用して空中写真測量を実施し、出来形管理に活用

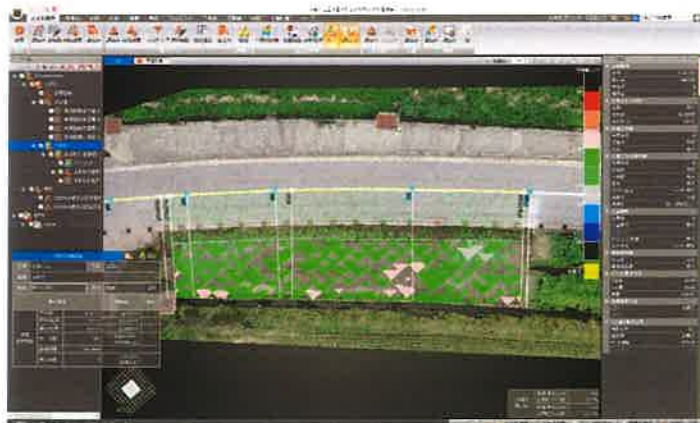
起工時

任意の測点を設置し
縦横断面図作成に活用
縦横断面図を基に計画
図を作成し、将来工事
予定区間の計画を含
む全体的な整合性の
確認資料を作成



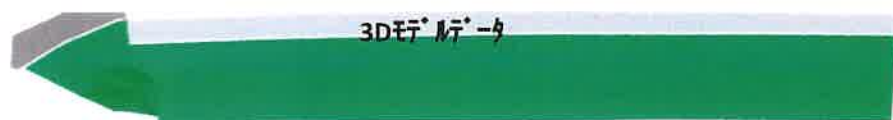
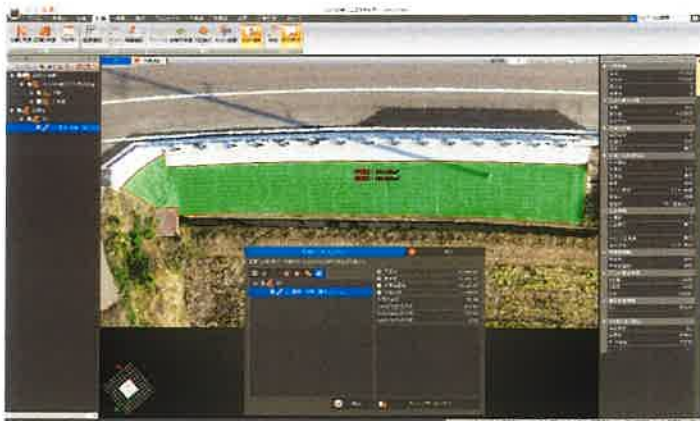
出来形測定

法面整形完了時の空撮
データと3次元設計デー
タを重ねて出来形比較を
実施

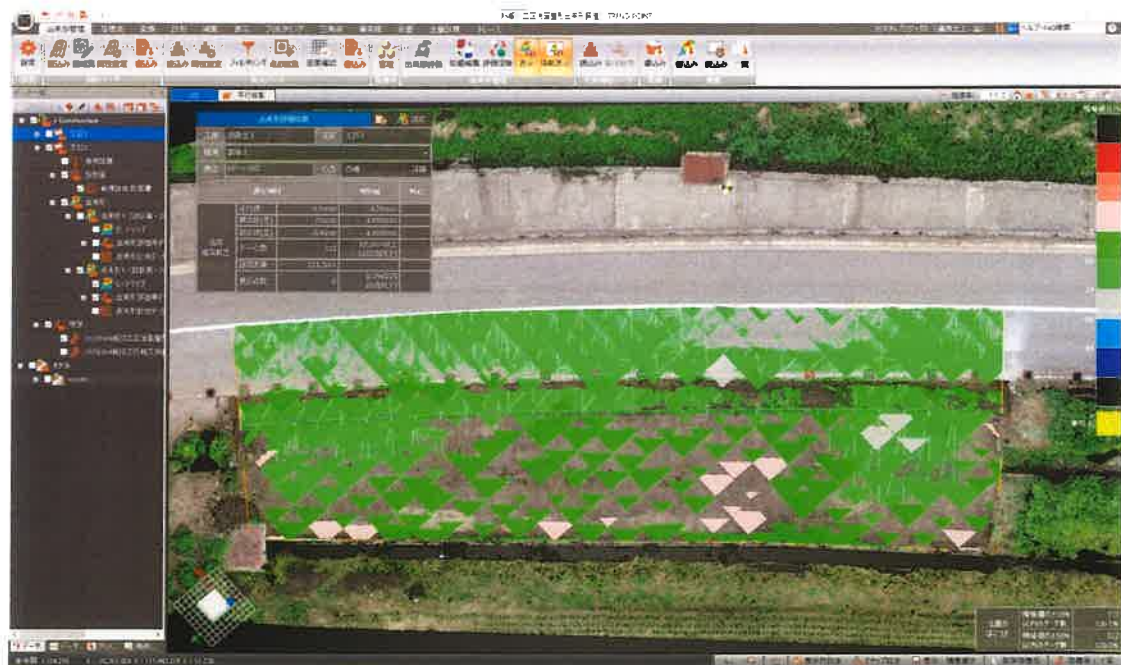


完成時

植生マット工の施工表面
積を点群データから計測
光波測量から作成した
3Dモデルデータの参考
データとして活用



TREND-POINTを利用して、3次元設計データと点群データによる出来形の比較をヒートマップにて評価実施



出来形評価結果				設定
工種	道路土工		工区	工区2
種別	掘削工			
測点	BP ~ IP5	合否	合格	詳細
測定項目		規格値		判定
法面 標高較差	平均値	0.9mm	±70mm	
	最大値(差)	79mm	±160mm	
	最小値(差)	54mm	±160mm	
	データ数	322	1点/m²以上 (282点以上)	
	評価面積	281.5m²		
	棄却点数	0	0.3%以内 (0点以下)	

(ICT施工の実績)



少人化・丁張レス
土工作業実施期間約4ヶ月の内
ICT施工実施期間は約2か月弱



雨天による作業休止期間もあり
ましたが真夏日であった為、土の
乾きも早く順調に施工出来ました

MCバックホウ

施工規模

1.5~2万m³の切盛土工
法面整形、仕上り天端整地



施工体制

OP人員：3名(現場管理者含む)

MCバックホウ(0.7m3)×1台

MCブルドーザ(D3) × 1 台

クローラダンプ(8t)×1台

バックホウ(0.7m3) × 1 台

バックホウ(0.1m³)×1台